

記録的大雪による業務への影響について

この2週間、青森県内では記録的な大雪が続き、市民生活に深刻な影響が出ています。青森市では積雪が170センチを超え、一部では180センチ近くに達しました。平年の2倍以上となり、除雪や排雪が追いつかない状況が続いています。住宅街や生活道路では2~3週間除雪が入っていない場所もあり、雪の壁が高くなって視界が悪化し、歩行や車の通行が危険な状態です。バスの立ち往生や渋滞も多発し、通勤・通学や通院への影響が長引いています。県は市道の代行除雪を視野に支援を準備しており、自衛隊による高齢者世帯の屋根雪除去も災害派遣として行われています。学校は浪岡地区を除き休校が継続しています。

弘前市でも積雪は約124センチと平年を超え、排雪の遅れや屋根雪による事故リスクが高まっています。無理な外出や単独での雪作業は避け、最新情報を確認し安全を最優先に行動しましょう。

記録的な大雪の影響により、**当社業務および施設内外で複数の支障が発生**しています。**敷地周辺や搬入経路では積雪により道路幅が著しく狭くなり**、トレーラー同士のすれ違いが困難な状況が確認されています。この影響で、構内進入や待機時間の増加が発生しています。また、**倉庫建物からの雪庇落雪や屋根雪の落下**により、出入口ドアの破損といった施設被害も発生しました。現場周辺では引き続き落雪の危険があり、通行や作業時には十分な注意が必要です。

物流面では、出庫予定のコンテナやトラックが現地に到着できず、出庫の延期や見通しが立たない案件が発生しています。今後も天候や除雪状況によって、急な変更や調整が生じる可能性があります。安全確保を最優先とし、無理な作業や判断は行わず、異常や危険を感じた場合は速やかに上長へ共有してください。引き続き、状況の変化に応じて情報を共有します。



安全衛生委員会 定例報告 1月 労働災害・ヒヤリハット認知件数

労災発生報告

労働災害*1 0件
通勤災害*1 0件

*1労働基準監督署に届出した災害

ヒヤリ・ハット報告

車両事故 0件 傷害事故 0件 その他ヒヤリ・ハット 2件
物損事故 1件 作業処理事故 0件 社内周知回覧文書発行 0件
1/26トレーラー連結が外れ脱落・車両物損

病院へ行く？
救急車を呼ぶ？ 迷ったら…

#7119

こんなときに電話 #7119 を！
こんな症状で救急車を呼んでいいのかな...
具合が悪いけどすぐに病院に行った方がいいかな...
手遅れになったらどうしよう...

電話口で医師、看護師などがお話を伺い、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

HG健康だより

Hirosakisoko Group

社報第 19号 令和8年2月10日（火）
弘前倉庫株式会社 安全衛生委員会

【特集企画】花粉はもう始まっている 対策は2月が勝負（青森県）

青森でも花粉は2月下旬から始まる

花粉症というと「春本番の3月以降」という印象がありますが、青森県でも例年、スギ花粉は2月下旬から飛散が始まります。本格的なピークは3月に入ってからですが、症状は飛散初期から徐々に現れることが多く、「気づいた時にはつらくなっている」というケースも少なくありません。そのため、まだ寒さの残る2月こそが、花粉症対策を始める大切な時期となります。

2026年は花粉が多くなる可能性

2026年の花粉飛散量については、前年の気象条件の影響により、東北地方では例年より多くなる可能性が指摘されています。夏場の高温や日照時間の長さは、翌年に飛散する花粉の量に影響するとされており、条件が重なった年は、飛散開始後に一気に量が増える傾向があります。

花粉が多い年は、症状が重くなりやすいだけでなく、治まるまでに時間がかかることもあるため、早めの備えが重要です。

花粉症は仕事のパフォーマンスにも影響する

花粉症の影響は、くしゃみや鼻水、目のかゆみだけではありません。鼻づまりによる睡眠不足、頭の重さ、集中力の低下、倦怠感などは、仕事の効率や正確さに直接影響します。特に、車両の運転や機械操作、確認作業など注意力を必要とする業務では、小さな不調がヒヤリ・ハットにつながるおそれもあります。

花粉症は個人のつらさだけでなく、職場全体の安全や業務の安定にも関わる身近な健康課題です。

2月から始めることが症状軽減につながる

花粉症対策は、症状が出てから行うよりも、出る前から始めることで効果が高まります。外出時のマスクや花粉対策用眼鏡の着用、花粉が付きにくい衣類の選択、帰宅時に衣服についた花粉を払い落とす習慣など、基本的な行動を2月から取り入れることが大切です。また、寒さによる体調不良や睡眠不足は症状を悪化させやすいため、十分な休養や規則正しい生活を心がけることも、重要な予防策となります。

2026年の花粉シーズンは、例年以上に影響が出る可能性があります。仕事の質と安全を守るためにも、「まだ大丈夫」と思える2月のうちから準備を始め、余裕をもって春を迎えましょう。



ハラスメント相談窓口のお知らせ soudan@daishu-hirosoko.jp

当社ではハラスメント相談窓口として専用電子メールアドレスを用意しています。事実確認後、代表取締役より選任されたハラスメント調査委員による面談をさせていただきます。安心して、ご相談ください。